

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
トラベルコーディネート Travel Coordinate		1年	後期	金曜日 2 時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
国際観光論、地域観光論				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
国際観光論、地域観光論				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
小鮒 滋則		講師室	金曜日の１０時から１６時(授業時間を除く)	授業中に指示します
授業の概要				
ツアーコンダクターの基本業務を理解し、「旅程管理」を円滑に遂行する能力を身に付けるとともに、旅行者と契約した旅行内容を順守して安全で快適な旅の実現を図るコンダクターの役割について学びます。				
授業の到達目標				
旅行の目的を達成するために旅行会社がどのように契約を順守し旅行者に旅を楽しんでいただくかを知ることでサービス産業の側面を理解出来るようにする。				
授業の方法				
ツアーコンダクターが必要とする基礎知識、国内および海外の添乗の実務、トラブル発生時の対応など講義の進展に伴い、演習問題を行います。				
学習の成果				
①国内・海外の添乗員として必要とされる基礎的な知識を習得することが出来る。②旅行中のリスク管理、特に海外における危機管理と事故発生時の対応の方法について学ぶことができ、リスクを最小限に抑える知識を身に付けることが出来る。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	旅行契約における旅程管理者としてのツアーコンダクターの役割			
第2回目	ツアーコンダクターの立場、必要な能力、添乗業務の基本			
第3回目	国内添乗ー基礎知識(宿泊・交通機関・観光・食事)			
第4回目	国内添乗ー準備			
第5回目	国内添乗 日程に沿って ①(日帰りツアーの添乗)			
第6回目	国内添乗 日程に沿って ②(宿泊を伴うツアーの添乗①)			

第7回目	国内添乗 日程に沿って ③(宿泊を伴うツアーの添乗②)
第8回目	ここまでのまとめと演習
第9回目	海外添乗ー基礎知識 ①
第10回目	海外添乗ー基礎知識 ② と準備
第11回目	海外添乗 日程に沿って ①(出国手続き、飛行機、入国手続き、市内への移動)
第12回目	海外添乗 日程に沿って ②(ホテルチェックイン、観光、食事)
第13回目	海外添乗 日程に沿って ③(自由行動、ホテルチェックアウト、出国、日本帰国、税関申告)
第14回目	事故とトラブルへの対応
第15回目	まとめと定期試験
成績評価の方法と基準	
評価の領域	割合 評価の基準
授業参加態度	20% 授業で使われる教材を準備して臨んでいる。授業に集中し、必要なことはノートに取り、積極的に質問する。
レポート	
調査報告書	
小テスト	
中間・学期末試験	60% 1 5 回目の講義時間に定期試験を行います。
発表内容(態度含む)	20% 各人に与えられた学習課題の発表内容と態度を評価します。
その他	
教科書と参考図書	
「ツアーコンダクター入門」 ジェイティービー能力開発	
履修上の心得・ルール	
常に自分をツアーコンダクターの立場に置き換えて学習する習慣を持つこと。	